

平成16年第7回議会定例会は、9月7日から17日までの日程で行われました。

一般質問は9日に行われ、7人の議員が村政の重要な課題について村側の考えをたどりました。

議案審議は17日に行われ、追加議案として提出された「南相馬合併協議会からの離脱について」の議案は、賛成8・反対9で否決されました。その他の15議案については原案通り可決されています。今議会に提出され可決された議案の概要は、以下のとおりです。（紙面の都合で、内容は一部省略されています）

9月定例議会から



▲9月定例議会のようす

平成16年度 一般会計補正予算

既定予算の総額に1億3、473万2千円を追加、歳入歳出予算の総額を44億9、017万円としました。

歳出の主な内容は、総務費・地区集会所合併処理浄化槽設置補助金324万1千円、センター地区第4工区調整池防災工事3、500万円、確定申告システム機器購入費793万1千円、戸籍事務電算業務委託料269万9千円、民生費・児童知的障害者居宅生活支援費455万円、知的障害者施設訓練等支援費640万7千円、子育て支援拠点施設整備外構工事378万円、衛生費・合併処理浄化槽設置整備事業補助金106万8千円、簡易水道事業特別会計への繰出金297万9千円、農林水産業費・中山間地域等活性化総合支援

事業補助金641万1千円、恵の農地再生事業補助金181万1千円、農道整備工事関係地区340万円、あいの沢周辺施設整備工事758万3千円、商工費・融資保証料助成補助金200万円、土木費・道路補修工事340万円、教育費・給食センター調理場備品68万8千円などです。

平成16年度 国民健康保険特別会計 補正予算

事業勘定の既定予算に100万2千円を追加、歳入歳出予算の総額を7億9、277万7千円に、診療施設勘定の既定予算に14万1千円を追加、歳入歳出予算の総額を1億84万1千円としました。

歳出の主なものは、一般被保険者保険税還付金90万5千円などの追加です。

平成16年度 診療所特別会計補正予算

既定予算の総額に32万5千円を追加、歳入歳出予算の総額を1億792万5千円としました。

歳出の主なものは、自動高圧蒸気滅菌器購入費27万3千円などの追加です。

平成16年度 簡易水道事業特別会計 補正予算

既定予算の総額に336万3千円を追加、歳入歳出予算の総額を1億5、061万3千円としました。

歳出の主なものは、施設管理費の薬品費283万2千円などの追加です。

道路線の認定

飯館村道認定基準に基づき、新たに1路線を村道に認定するものです。

福島県市町村総合事務組合を組織する市町村数

平成16年11月1日をもって、会津若松市に編入合併となる北会津村を、福島県市町村総合事務組合から脱退させることに、議会の議決を求めるものです。

平成15年度 一般会計及び特別会計 歳入歳出決算認定

一般会計の決算額は、歳入57億1、462万円、歳出53億1、490万4千円で、歳入歳出差引額は3億9、971万6千円です。そのうち、繰越明許費の財源繰越1億3、654万7千円を差し引き、実質収支は2億6、316万9千円です。

その中から、財政調整基金に1億4、000万円を積立しています。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告により寒冷地手当の支給額及び支給方法等の見直しが表示されたことに伴い、条例を改正するのですが、今回の改正では、実施に当たっての経過措置等の詳細がまだ示されないため、詳細に渡つての条例改正が出来ないことから、暫定措置として、当面、寒冷地手当の支給を先送りするための条例改正です。

小型動力ポンプ付き積載車の取得

9月14日、3社による指名競争入札の結果、福島消防資材株式会社が落札しましたので、小型動力ポンプ付き積載車4台の取得について、議会の議決を求めるものです。契約金額は1、753万5千円です。

村長村政報告

（紙面の都合で、内容は一部省略してあります）

第22回いいたて夏まつり

今年の夏まつりは、タイトルを「までいライフ in あいの沢」とし、7月31日に「村民の森あいの沢」にて開催しました。

当日は好天に恵まれ、「飯館牛の丸焼きコーナー・焼肉コーナー」をはじめ、20行政区による「ふるさと自慢コーナー」、商工会による「模擬店コーナー」、行政区対抗「風船ヒップ割大会」、「よさこいソーラン」、「いいたて盆踊り大会」、「花火大会」など盛りだくさんのイベントに、訪れたおよそ2、500人に大いなる感動を与え、大盛況のうちに終わることができました。

これもひとえに実行委員会委員をはじめ、20行

政区並びにボランティアなど多くの関係者のご支援とご協力によるものであり、心から感謝とお礼を申し上げます。



▲行政区による「ふるさと自慢コーナー」

大倉オートキャンプ場

広域観光拠点整備事業の「大倉オートキャンプ場」は、平成16年度に事業を実施することで進めていきましたが、地権者の一部の同意が難しく、今年度中の着工は無理との

農業関係

今年の夏は、一時期は干ばつも心配されるほどの好天に恵まれ、作物の生育も順調で収穫量の増、品質の向上が見込まれています。しかし、現在までに2回ほどの災害も発生しています。

7月25日、午後2時頃に須萱と二枚橋地区の一部を中心に降雹があり、葉たばこを中心にレタス、いんげん、加工トマト等の夏野菜やリンドウなどの花卉類に被害がありました。被害額は335万円程度で、葉たばこが最も多く245万円程度と

なっています。

また、レタスや家庭菜園については、壊滅的な被害を受けたところが数カ所見られました。



▲強風で折れ曲がったパイプハウス

台風15号の接近による8月20日未明から午前中にかけての強風で、パイプハウスの倒壊が1棟、ビニール損壊が41棟あり、野菜・花卉への被害も見られました。特に、野菜ではいんげんにスレや樹勢低下、花卉については、リンドウの折れやスレ、グラジオラスの倒ふく等が見られました。被害総額は作物の今後の生育状態にもよ

りますが、数百万円程度になるものと予想されています。

長期予報によりまずと、今年は台風の発生及び接近が例年より多く、規模も大きいことから、今後の天候によつては農作物の収穫に影響が生ずるおそれが懸念されます。

作物別生育現況

水稲については、8月15日現在、県全域とも「やや良」となっています。村でも、7月以降の天候が概ね高温・多照に経過したことから、出穂がやや早まり、平年に比べ8日ほど成育が進んでおり、稔実率は「やや良」と見込まれているところです。

今年から新たな米政策改革により取り組みを行っている生産調整ですが、今までの転作配分に替わ

り、米生産目標数量の配分となっています。

今年度の村の米生産目標数量は4、284t、面積にして874haの配分となりましたが、7月初めに実施しました現地確認によると、作付け面積が790haであり、84haの作付け可能面積が余る状況となっています。今後、この中から2haを未達成の他市町村との地域間調整をしていただくよう、J Aを通して要望しています。

野菜関係は、作物によつては春先の水不足による成育遅れも若干見られましたが、現在までの出荷量は順調な伸びを示しています。

花卉についても同様であり、昨年度からはじめて生産者の共同選花の実施により、出荷も軌道に乗り市場での評価も向上していると聞いています。

中山間地域直接支払制度

今年度が最終年度となつていました中山間地域直接支払制度については、現制度規模での継続が、農水省の来年度予算の概算要求に盛り込まれたとの報道がなされたところであり、国の今後の予算獲得に期待するところです。

直売所まつり

本村の夏野菜や花卉などの特産品の直売を通して、消費者に安全で安心な農産物を提供することを狙いとして、7月17日と18日の2日間、村内の5直売所で取り組みました。

また、「ばんかた農市」でも、7月17日に福島市南向台で実施しました。各直売所では、各種サ―ビスや購入者へのプレゼントなど、工夫を凝ら

して本村野菜や花などのPRに努めていました。



▲昨年に続いて取り組んだ直売所まつり

畜産関係

全国的に子牛相場の高騰が続いているによつて、今年度になつても、4月から8月までのJ A全農の県家畜市場子牛取引引き価格を見ますと、子牛セリ価格は、1頭平均価格が去勢で49万3、965円、雌で42万886円、去勢と雌の平均価格が46万1、900円と県家畜市場始まって以来の高値取引引きとなっています。飯館産子牛セリ価格は、更に8千円から1万

3千円程度の高値取引引きとなっています。

堆肥舎整備

家畜排泄物法の猶予期限が、いよいよ今年の10月末までとなつてきました。法整備対象畜産農家で、完成していない畜産農家が33戸残っており、そのうち未着手の畜産農家が14戸あります。これらについては、早急に着手するよう指導してまいります。

また、未着手畜産農家14戸には、新たな畜産農家が、村のさわか基金での補助の利用希望者が2戸増えており、今議会に補正予算を計上しています。

真野ダム展望台周辺環境整備事業

この事業は、平成16年度福島県緊急雇用創出基

金事業費補助金により、

真野ダム展望台周辺の樹木を伐採し、展望台からの眺望を確保するための事業で、現在飯館村森林組合に委託し実施しています。伐採面積は、およそ1万8、000㎡で、幅30m、延長600mの眺望支障木を伐採する計画で進めているところです。



▲支障木を伐採して展望台からの眺望を確保する真野ダム

振興公社

去る8月27日に理事会が開催され、平成16年7月までの業務報告がなされました。

肥育事業については、

依然として枝肉価格の高

値取引が続いており、販売価格は1頭あたり93万4、786円と今までにない高値取引きされ、上物率も約74・6%まで上昇しています。

受精卵移植事業

採卵については25回、移植については60頭で受胎率54・3%となつており、前年度より利用者が少ない状況にあります。

ほんの森

前年度比較2・4%の売上減少となつております。これは、一人あたりの客単価はあまり変わらないものの、購買者数が年々減少しているによつてです。

飯館楽園(株)

4月以降の「宿泊体験館きこり」の利用は、新

館整備の効果により順調に推移しています。しか

し、「ステーキハウスいいたて」は、7月にメニューの変更を行う等経営の改善に努めていますがいぜん厳しい状況が続いています。



▲建設工事が進むきこりの新しい入浴施設

石ボロ坂トンネル

主要地方道原町川俣線の仮称芦原トンネルですが、正式名称を「石ボロ坂トンネル」として、去る8月26日待望の貫通式が行われました。これもひとえに、関係者各位のご尽力によるものと深く感謝申し上げますと共

に、今後、尚一層の無事

なる工事完成を願うものです。なお、トンネルは平成17年12月までの完成を目指しているとのこと



▲貫通した石ボロ坂トンネルの全長は647m

教育関係

飯樋小学校北・西校舎の改修工事は、10月の竣工を目標に順調に工事が進んでいます。今後は、旧講堂などの取り壊しや駐車場整備などの周辺整備を進めてまいります。なお、12月初旬には、校舎改築の落成式を予定しています。

小学4・5・6年生を

対象とした合宿通学は、村内3つの小学校から合計71名の参加がありました。今年で3回目ということもあって経験者が45名あり、1週間の共同生活のなかで、大きなトラブルもなく、子どもたちの自主性や協調性の助長、そして親や家族のありがたみが実感でき、所期の目的が達成されたものと考えています。



▲合宿通学の開校式の様子

全国的に青少年・児童生徒に関わる事件事故などが増える傾向が見られます。本村においても夏休み期間中に、児童生徒

に関わる数件の事故が発生しています。

子どもの教育は、改めて申し上げるまでもなく「家庭」、「学校」、「地域社会」が、それぞれの立場や範囲において、連携と責任をもってあたらないければなりません。特に、事故等に関わった子どもへの傾向をみますと、罪悪感が薄いことが痛感されます。「ダメなもの」「ダメ」という、人間として基本的な善悪教育は、家庭・親の責任が大きいと思います。ましてや夏休み期間中における事故などは、家庭・親の責任の範疇です。

村教育委員会では、「いい子、いい子に育て、大人の声で」を今年度の重点運動として取り組んでいます。今後ともあらゆる機会を通して、運動の必要性・重要性を訴え、家庭・学校・地域が一丸となった、子

どもたちの健全育成に努めていきます。

社会教育関係



▲心地よい汗を流したウォーク大会

梅雨の晴れ間の下、6月27日、いい子に育ちたいウォーク大会」が開催されました。会員はもとより愛好者の方々38名の参加をいただきました。

スポーツ公園より出発し、飯樋大平を通り閑沢に抜け、スポーツ公園にもどる約7kmのコースで塩の道の史跡を探訪しながら心地よい汗を流しました。

今年で7回目となりました。「海洋アドベンチャー・スクール」は、村内の小学6年生とスタッフあわせて90名で、7月27日から31日までの4泊5日の日程で実施しました。

フェリーでの洋上生活や北海道の自然と文化に触れ、俱知安町での子どもたちの交流など思い出の多い、たくさん感動と体験ができました。特に、俱知安町探検では、地元の子どもたちと一緒に歩きながら、事前に学習した飯館村のことを俱知安町民の方々にPRをしてきました。



▲俱知安町の子どもたちと交流したアドベンチャースクール



▲体育協会結成30周年記念のスポーツ健康教室

村体育協会主催の「スポーツカーニバル2004」は、8月22日にスポーツ公園を中心として開催されました。今年は24時間リレーマラソンを実施せず、村体育協会結成30周年の記念事業をメインに、傘下の協会・連盟主催による各種イベントや第5回なかよしマラソン大会、チャレンジニユーススポーツコーナー、健康教室など多彩なスポーツイベントが行われ、村内外から約500人の参加がありました。